

宮農指導支援システムの活用によるカンキツ指導体系の確立(熊野市、御浜町、紀宝町)

実施主体: 三重南紀みかん産地再構築委員会 取組期間: 令和3年～ キーワード: 営農指導支援システム

1 産地の概要

<対象地域> 熊野市、御浜町、紀宝町

<対象品目> カンキツ

<産地の現状・課題>

- ・熊野灘沿岸の温暖な気候を生かしたカンキツ栽培が中心であり、栽培面積は835haと県内一の産地である。温州みかん、カラ、セミノール、サマーフレッシュ等、多様な品種により周年供給を行っている。
- ・地域の大部分が中山間地域に属しており、過疎化・高齢化が著しい。生産力の低下と産地が培ってきた技術の損失が顕著に進行している。
- ・加えて、近年、気候変動に起因する異常高温や豪雨が頻発し、生育障害、品質低下による大幅な減収が問題となっており、厳しい環境変化にも適応した精密なカンキツ生産技術の確立と、その技術を伝承できる高度な能力を有した営農指導員の育成が必要である。

2 検討体制

<三重南紀みかん産地再構築委員会構成員と役割>

- ・三重南紀みかん生産販売協議会
(役割: 営農指導支援システムの活用・評価)
- ・三重県熊野農林事務所紀州地域農業改良普及センター
(役割: 生産者指導、現地調整、進行管理)
- ・JA伊勢 三重南紀地区本部
(役割: 現地研修会の実施、生産者指導、会計)

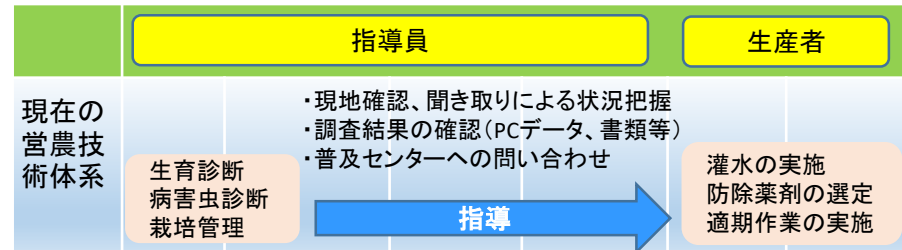


(営農指導支援システムの様子)

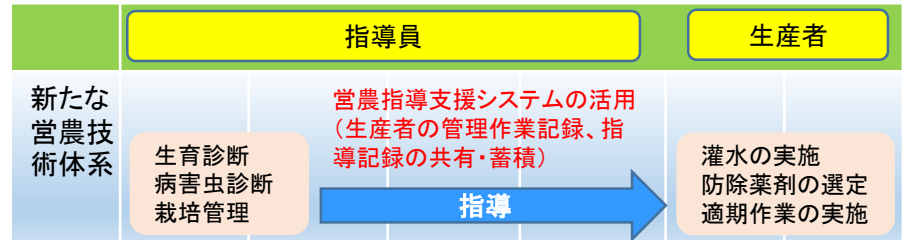
3 新たな営農技術体系への転換

<目指す産地像>

「営農指導支援システム」を活用し、データに基づく経営指導・栽培指導を効率的に実施することにより、高品質果実の生産量増加を目指す。



営農指導支援システム導入



<新たな営農技術体系の効果> 温州みかんの産地ブランド果実の生産が増加
産地ブランド合格率 : 現状34% → 目標38% **4%↑**

<新たな営農技術体系の今後の取組内容>

取組主体	R 4	R 5	R 6
三重南紀みかん生産販売協議会	営農指導支援システム導入、検証		導入面積拡大
紀州地域農業改良普及センター	技術指導、導入支援		地域への普及推進
JA伊勢 三重南紀地区本部	技術指導、営農支援		

問い合わせ先: 紀州地域農業改良普及センター普及1課 TEL:0597-89-6126